



会長	遠藤光則	佐々木 崇
幹事	猪股育夫	小竹 秀敏
会報	佐藤敬喜	佐々木 崇
	菅原文之	小竹 秀敏
	只野佳旦	佐藤 静市

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2401回例会 2013. 5. 23 No.43

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 69.8%
- ・前回確定出席率 65.4%

### ニコニコボックス

- ・遠藤光則会長 及川昭宏会員、久々のスピーチ当番。宜しくお願ひ致します。
  - ・猪股育夫幹事 5月25日に、寒川RC40周年、松島RC40周年に参加の皆様ご苦勞様です。及川昭宏会員のスピーチ楽しみにしています。
  - ・江川元徳会員 妻の〃年、ひとつ増えました。
  - ・及川昭宏会員 久しぶりで申し訳ありませんでした。本日はよろしくお願ひします。
  - ・鈴木彦太会員 及川昭宏会員のスピーチ、楽しみにご期待を致します。
  - ・千葉吉男会員 及川昭宏会員のスピーチ、楽しみにしています。
  - ・高橋義文会員 本日、及川昭宏会員のスピーチを楽しみに期待しております。
  - ・高橋久寿会員 出張続きで例会に出席出来ず、申し訳なく思います。
  - ・佐藤早智子会員 夜の例会初参加です。いつも皆様のスピーチには勉強させていただいております。今日も楽しみにしています。
  - ・布施孝之会員以下 及川昭宏会員のスピーチを楽しみに期待します。
  - 村上武彦会員 佐々木崇会員 阿部泰彦会員  
伊藤俊郎会員 菅野幸一郎会員 山田直志会員  
佐竹孝行会員 二階堂學会員 阿部賢悟会員  
菅原文之会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員  
熊谷敏明会員 佐々木功一会員 後藤益美会員  
山田正会員 富士原裕子会員 武川毅会員  
杉田広仁会員
- 以上、ありがとうございます。

### 会長要件 遠藤光則会長

NHK朝の連続ドラマ「あまちゃん」が放映されております。NHKが東北を元気にしたいという意味で大河ドラマ「八重の桜」と2つの東北の地の番組を入れました。大変粋な計らいをしてくれたと思いました。特に朝の連続ドラマとしては、数年前に「どんと晴れ」が盛岡を舞台としてありました。本来は全国を回ってやるというところらしいのですが、震災復興を願って敢えて岩手の久慈を題材にしたと聞いております。聞いておりますと、言葉のなまりはこの辺とほとんど変わりません。あの番組の脚本家が若柳出身の宮藤官九郎さん(43歳)で築館高校卒業の方です。非常に若い方がそういった脚本を手掛けているということで親しみをもって見ております。

### 幹事報告 猪股育夫幹事

- ・GSEのメンバーの1人、ヘオルヒーナ・グティエレスさんより絵はがきが届いています。

### 各委員会報告

- ・環境保全委員会 (山田直志副委員長)  
環境市民会議に出席して参りました。この市民会議は平成21年に市民の環境に対する意識を高めようということで作られたものです。一般住民の意向を汲みあげて組織を作り上げていこうとしたようです。今回、議題になりましたのは、震災もあり具体的な活動がなされていないということで、4つあった組織作りを2つの部門にまとめたらいのではないかと役員会の決定を受けて開催されました。ロータリークラブの会長が自動的に創造部会の副会長になっておりましたが、出席率が悪いので私の方から辞退をして参りました。次年度からは創造部会の副会長はなくなりましたので、ご報告を申し上げます。

- ・次年度関係 (佐々木源悦次年度会長)  
新役員会議のお知らせ  
日時 6月6日(木) 午後6時~  
場所 ホテルサンシャイン佐沼  
※委員長が出席できない場合は、副委員長が出席して下さい。活動計画書の提出もお願いします。

### 今週のスピーチ

#### 及川 昭宏会員

今日の話のエッセンスについては、「指揮者のいない28人のオーケストラに学ぶ」という文章を配布いたしました。ご参照下さい。

ビッグバンドと言った場合、大体17人~18人で編成されますが、この位が限度かと思われております、指揮者のいないバンドが存在します。オーケストラという形になりますと、リズムの形と音の形の組み合わせが最大で50通り位の組み合わせで音楽が出来上がっている訳ですが、それが指揮者でもってある程度全体のものが作り上げられているのが今までの流れです。物事が複雑にからみ合っていく時にどうしても俯瞰的な立場で見て、それを調整する人がいないとなかなか形になりにくいということで指揮者、組織で言うところのマネージャー、即ちトップマネジメントが存在している訳です。それでもって音楽というものの出来上がり、会社で言えば売り上げ、事業がうまくいっている、出来高といった形ものが構成されていきます。これが存在しないオーケストラがあります。私が見つけたのは20数年前、私がメキシコに行く前で昭和の終り頃です。ハーバード大学などのビジネス大学等で分析・研究されていたというのがNHKの番組で紹介され、大変興味を持ち、向こうに行っておりましたので参考文献等も手に入りやすかったのですが、全部英語で書かれていましたのでなかなか先に読み進められず往生しましたけれども、配布致しましたエッセンスに書いてあるようなことが書かれていました。これについては似たような考え方が今はネットワークの中に存在します。

私も今だに吹奏楽という世界で1演奏者として活動させていただいている訳ですが、その中で先ず演奏者自体の位置付けと言うのは全体的に組み出来上がっていく時に演奏者側のスタンスを考えます。演奏者自体が「こうだ」と言うふうにして演奏してはいけないと一般的に言われています。演奏者があまりアピールし過ぎると全体的な調和を崩してしまうところがあるので、それを是正するために指揮者が余計に労力をつかってしまうところが問題視されますので、あまり演奏者自体はアピールすると言われております。それで指揮者が物ごとを作り上げていくのですが、演奏者側からしてみればマネージャークラスのレベルで以って出来上がりが決定されてしまうところがあります。マネージャー以上のものは出来上がらないという結末を迎えてしまう訳です。NHK交響楽団がありますが、その楽団をこの辺の中学校吹奏楽部の先生が指揮すると、それなりのものしか出来上

がらないが、有名な指揮者がタクトを振ると全然違うという形になってしまいます。

これは、演奏者側からすれば、それは決して間違いではありません。実際問題「そういう風にして下さい」という風に育てられると結局、そういう風になってしまいます。これが間違いかと言うと、やっている方からすると間違いではありません。結果的なものが出ないと、それは多分システムの欠陥になる、結果をださなくてはならないということになるとシステム上の欠陥という形になるのではないかと思います。

指揮者のいないオーケストラですが、これについては参考資料の中に①~⑧まで書いてありますが、正にこのポイントになるのではないかと思います。結局、演奏者が指揮者と同じ位にスキル(力量)を持って演奏に当たると言うことになると思います。確かに50人いれば50人それぞれの解釈があるのですが、それを皆んなで話し合いをすることによってひとつの形に調整していくということです。これが果たして組織体の中でキチンと出来るかどうかというのは、実際問題として、それぞれの人がある意味で、俗に言う大人にならないと出来ないのではないかと思います。

これは、どうしてもお互いに意見を受け入れて調整をしようとする、こじんまりとした、物事を決めても面白味のない物が出来上がっていくのでは…。もっと意見を色々つぶつけ合うことによって高味のあるものが出来上がっていくのではないかと思います。

私もこの辺のことを会社の方でさせていただいておりますが、なかなか定着させるのは難しい物だと最近思っている訳です。

そういった意味で、それぞれの力量を高めていただかないと、なんにもならないところがあります。これは、会社の中でも品質問題にあるのですが、ブレンストーミングと言って、これについては、意見を止めてはいけません。出てきた意見を批判してはいけません。しかし、特に専門的なものに片寄っていることについては、全くそのことについて知らない人が意見を言うとはっきり言ってとんちんかんなものが出てきたりするのですが、それも、ブレンストーミングをやる中に於いては決して否定してはいけないという形になります。それがある程度の量が揃ってしまうとそれ自体を分析しなければいけないという部分が出てきますので、これが出てしまいますと話が全く前に進まない、何をやっているのか分からないという状態になります。ブレンストーミングは要するに頭脳を集めてやるのですが、頭脳のレベルをある程度揃えておかないと、ある程度知識的なものが足りない方については、知識をある程度詰められた形でブレンストーミングの輪の中に入らないと、かえって入ってもらった人が気の毒になってしまうところがあります。船頭多くして舟山に登る状態になってしまいます。その辺をきちんと整理して(スキルを上げて)育てていかなければなりません。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。